



<p>海底探検</p>	<p>好きな探検と場面を選び、「はじめとおわり」をつけた動きにして踊る。</p>	
	<p>5 ～ 6</p>	
<p>てみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラゲのダンス ・大ダコ発見！ ・サメがおそってきた 等 <p>★対立したり対応したり、不思議な、奇妙な動き</p> <p>★緩急のある動き</p> <p>★友達と別々に、一緒に</p> <p>て即興的に踊る</p>  <p>クラゲのダンスだ フンワ フンワ光も出すよ</p>	<p>1 心と体をほぐす。</p> <p>2 学習課題の確認「表したい探検の様子が表れるように動きを工夫して踊ろう。」</p> <p>3 表したい探検と場面別にグループを作る。(5時目)</p> <p>3 グループの課題を確認する。(6時目、7時目)</p> <p>4 気に入った場面を選び「はじめとおわり」をつけて踊る。</p> <p>○表したい探検の場面に「はじめとおわり」をつけて動きのストーリーを考える。</p> <p>○一番表したい場面の様子が表れるように工夫する。(工夫のポイント例)</p> <p>◆感じの異なる動きや急変する動きでメリハリをつける。</p> <p>◆対応する動きや対立する動きを組み合わせる</p> <p>◆対極の動きを繰り返して印象的に</p>  <p>5 見せ合って感想を伝え合う。</p> <p>6 学習のまとめをする。</p>	<p>5 発表会の進め方を知る(発表会の進め方の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1グループ発表ごとに感想を伝え合う ・探検ごとに区切って… ・全部の発表をメドレー形式で ・発表前にタイトルと簡単な動きのストーリーを紹介する。 <p>6 発表会をする。</p> <p>7 感想を出し合い、単元のまとめをする。</p>
<p>② (観察・学習カード)</p>		
	<p>② (観察・学習カード)</p>	
		<p>② (観察)</p>


5 本時の目標と展開

【第4学年表現 「〇〇探検」 5 / 6 時間】

(1) 本時の目標

- 表したい「〇〇探検」の場面を中心に、「はじめとおわり」をつけた動きにして踊ることができるようにする。 (技能)
- グループの友達と励まし合い、誰とでも気持ちよく踊ろうとしている。 (態度)
- 気に入った「〇〇探検」のイメージを選び、表したい感じを誇張したり、感じの異なる動きや急変する場面を入れたりして、動きや動き方を工夫することができるようにする。 (思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では主として思考・判断について評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価 (☆)
はじめ 10分	<p>1 今日の学習の流れを確かめる。</p> <p>2 軽快なリズムに乗って踊り、心と体をほぐす。</p>	<p>○心とからだをほぐしてから、探検に出発することを伝える。</p> <p>○児童になじみのある乗りやすい曲を選び、教師がリードしながら、自由に体を動かせるように声かけする。</p>
なか 30分	<p>3 表したい〇〇探検別グループで、気に入った場面に「はじめとおわり」をつけて踊る。</p> <p>気に入った場面に「はじめとおわり」をつけて踊ろう</p> <p>○これまで踊った中から、気に入った探検を選び、選んだ探検ごとにグループをつくる。</p> <p>○グループで気に入った場面を選び、ひと流れの動きで踊る。</p> <p>○気に入った場面を中心にし、「はじめ」と「おわり」をつけて続けて踊る。</p> <p><例>ジャングル探検 宇宙探検</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid #f0f0f0; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・草を分け入って歩いて行くと… ・大きな川にかかった一本橋を渡る ・渡り切って喜び合う </div> <div style="border: 1px solid #f0f0f0; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ロケット発射、宇宙空間へ ・フワフワ無重力 ・無事に月面に降り立った </div> </div> 	<p>○同じ探検を選んだ児童同士で4人前後になるようにしてグルーピングする。</p> <p>即興表現した中から、気に入った一つの場面を選ぼう。</p> <p>伝えたい場面を中心に「はじめ」と「おわり」をつけ、変化をつけながら続けて踊ろう。</p> <p>★工夫の仕方の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速さを変えたり、ストップを入れたりしてリズムを工夫する ・全身を使ったり、おへその向きが変わったりする ・空間や、場を効果的に使う ・一人で、数人でなど、友達とかかわりながら動き方を変化させる <p>○同じ探検を選んだグループをペアにして見せ合うようにする。</p> <p>○どんな場面なのかを伝えてから、踊って見せるようにする。</p> <p>☆気に入った「〇〇探検」の表したい感じを誇張した感じの異なる動きや急変場面を入れたりして、動きや動き方を工夫している。</p> <p>【運動についての思考・判断②】 (観察・学習カード)</p>
まとめ 5分	<p>5 出来上がった踊りを見せ合って、よかったところを伝え合う。</p> <p>6 学習を振り返り、楽しかったことや友達の踊りでよかったことを発表する。</p>	<p>○よい動きや工夫のしかたなどを次回の学習に取り入れていこうとする意欲をもてるように称賛する。</p>

《参考資料》 「〇〇探検」～イメージカードの例～

- * 動きにしたら面白そうな様子や場面をことばや絵にして床にばらまき、かるたの要領で即興的に表現する。
- * イメージカードは児童の創意を入れながらつくるのが望ましい。

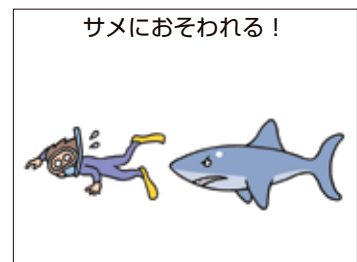
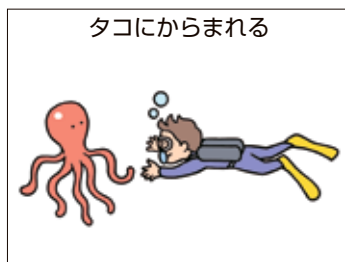
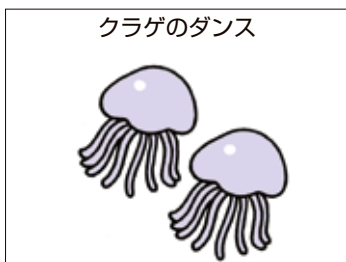
・ジャングル探検



・宇宙探検



・海底探検



【单元後半の学習カードの例】

「〇〇探検」学習カード

名前

月 日 () 回目 年 組

選んだ探検

グループになった友達

はじめ

⇒

なか

⇒

おわり

★学習をふり返って ◎よくできた ○できた △もう少し

☆「〇〇探検」の好きな場面にはじめとおわりをつけておどることができた。	
☆友達と協力して、たのしく活動できた。	
☆表したい場面がよくわかるように工夫できた。	
☆友達のおどりで上手なところを見つけることができた。	

感想

第1節

第3学年及び第4学年 「リズムダンス」(はじめの段階)

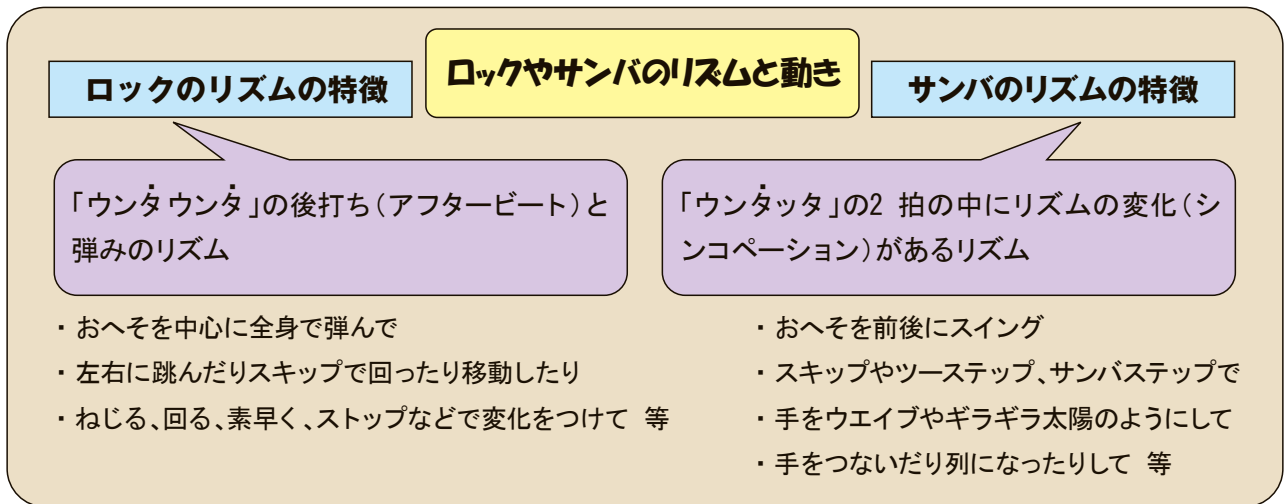
ロックやサンバのリズムに乗って!

1 授業の基本的な構想

(1) 授業のねらい

この単元は、中学年におけるリズムダンスの「はじめの段階」を想定しています。リズムダンスは、ロックやサンバといった、子どもたちが聞きなれたリズムに乗って友達とかかわり合いながら全身で弾んで踊ることができれば、そのおもしろさをさらにふくらませることができる運動です。そこで、児童が豊かなかかわり合いの中で、リズムに触発されながら即興的に自由に踊ることができるように、ロックの「ウンタ ウンタ」の後打ちのリズムやサンバの「ウンタッタ」のリズムの特徴をとらえたよい動きに気付かせていきます。そして、変化のつけ方を工夫したり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れたりして楽しさを広げていけるようにしていきます。

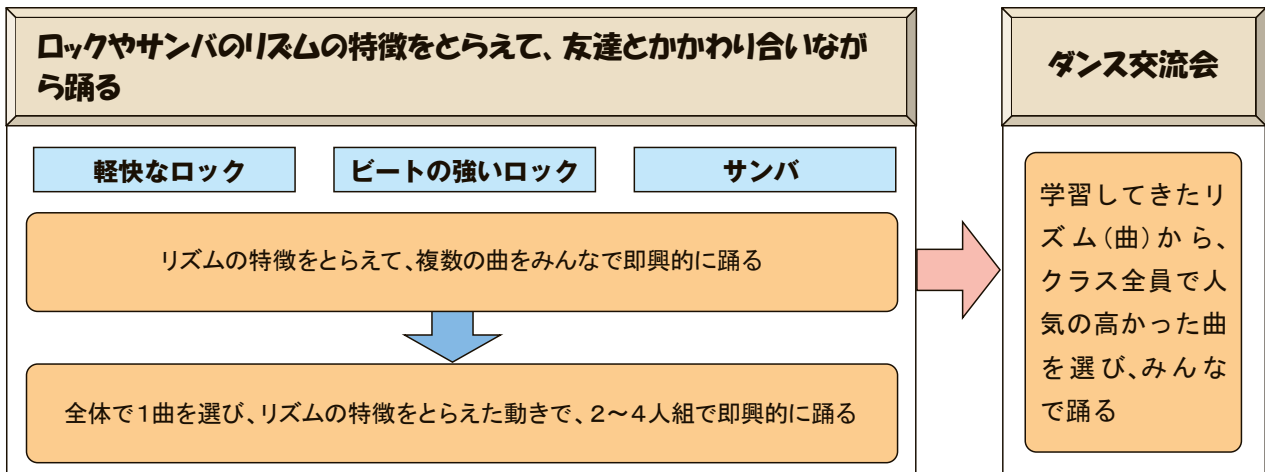
《どんなリズムを・どんな動きで》



(2) 授業づくりの考え方

単元全体を通して、ロックやサンバのリズムに乗って即興的に踊る活動を十分に行います。毎時間の前半では、ロックやサンバの曲に合わせて、教師と共にリズムの特徴をとらえながら複数の曲で踊ったり、変化をつけて踊ったりすることに取り組み、リズムダンスのおもしろさを豊かに味わえるようにしていきます。毎時間の後半では、全体で1曲選び、リズムの特徴をとらえた動きで、2~4人組で即興的に踊る活動を行います。単元のまとめでは、これまで踊ってきた曲の中から人気の高かった曲を選んで全員で踊って交流するとともに、リズムの特徴や動きのポイント、友達と自由に踊る楽しさについてまとめていきます。

《どのように学習を進めるのか》



2 単元の目標

- (1) ロックやサンバの軽快なリズムに乗って、全身で踊ることができるようにする。 (技能)
- (2) リズムダンスに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全を確かめたりすることができるようにする。 (態度)
- (3) ロックやサンバのリズムの特徴を捉えた動きのポイントやよい動きを知るとともに、自分に合った課題を選んだり、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れたりすることができるようにする。 (思考・判断)

3 単元の評価規準 ()は第4学年

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ●ロックやサンバのリズムの特徴を捉えて踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、リズムダンスに進んで取り組もうとしている。 ●リズムダンスの行い方のきまりを守り、友達と励まし合って練習や交流をしようとしている。 ●運動する場の安全を確かめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ロックやサンバのリズムの特徴を捉えた動きのポイントを知るとともに、自分に合った課題を選んでいる。 ●よい動きを知るとともに、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ロックやサンバの軽快なリズムに乗って全身で踊ることができる。
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①リズムダンスに進んで取り組もうとしている。 ②友達と励まし合い、誰とでも気持ちよく、踊ったり交流したりしようとしている。 ③友達とぶつからないように安全を確かめながら踊ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ロックやサンバのリズムの特徴や動きのポイントを知り、特徴をとらえた動きを見付けている。 ②よい動きを知り、友達のよい動きを自分のリズムダンスに取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ロックやサンバのリズムの特徴を捉えて、全身で弾んで即興的に踊ることができる。 ②(友達と調子を合わせたり、対応したりして踊ることができる。)



先生と一緒に



友達と自由にかかわって

4 指導と評価の計画（例）

		ロックやサンバのリズムに乗って！		
学習の段階		ロックやサンバのリズムの特徴をとらえて、		
毎時間の小テーマ		軽快なロック		ビートの強いロック
時数		1	2	3
第三学年	0	1 心と体をほぐす。 2 学習課題を確認する。「○○のリズムに乗って、友だちとかかわり合いながら、即興で楽しくおど		
	10	3 リズムの特徴をとらえて、複数の曲をみんなで即興的に踊る。 ○ロックやサンバの2～3分の曲を数曲用意し、教師と共にリズムの特徴をとらえながらメドレーで踊る。 「ウンダ ウンダ」の後打ち(アフタービート)のロックのリズム。 ・おへそを中心に全身で弾んで ・左右に跳んだりスキップで回ったり移動したり ・サイドステップに後打ちの手拍子 ・2人組で手をつないで弾んだり回ったり 等		
	20	○リズムの特徴をとらえ、変化を付けた動きを入れて続けて踊る。		
	30	 手を振ったり足を上げたりしてみよう！	 素早い動きやストップなどでリズムの変化を付けて続けて踊ってみよう！	 友達と手をつないで踊ったり、即興的な動きをまねし合いながら踊ったりしてみよう！
	40	4 全体で1曲を選び、リズムの特徴をとらえた動きで、2～4人組で即興的に続けて踊る。		
45	 5 学習のまとめをする。	 毎時間違う友達と踊ると、いろいろな友達の踊りのよさを知ることができるね！		
評価の観点	運動への関心・意欲・態度	③ (観察)		① (観察)
	運動についての思考・判断		① (観察・学習カード)	
	運動の技能			① (観察)

リズムダンス 第3学年（6時間）

友達とかかわり合いながら踊る。		ダンス交流会
サンバ		
4	5	6
<p>ろう。」</p> <p>「ウンダッタ」の2拍の中にリズムの変化(シンコペーション)があるサンバのリズム。</p> <p>・おへそを前後にスイング ・手をウェイブやギラギラ太陽のようにして ・スキップやツーステップやサンバステップで 等</p>  <p>列になったり、集まったり離れたりして移動しながら踊ってみよう！</p>		<p>1 心と体をほぐす。</p> <p>2 学習課題を確認する。 「これまで学習してきたことを生かして、お気に入りの曲をメドレーにして踊ろう。」</p> <p>3 学習してきたリズム(曲)から、クラス全員で人気の高かった曲を選び、みんなで踊る。</p>   <p>4 単元のまとめをする。 ・即興的に踊るおもしろさ ・リズムの特徴や動きのポイント ・全身ではなくて踊るおもしろさ ・友達とかかわり合いながら踊るおもしろさ</p>
② (観察・学習カード)		
		② (観察・学習カード)
		① (観察)



陽気なサンバのリズムにのって

自分たちのオリジナルの踊り方で踊ると楽しいね！


5 本時の目標と展開

【第3学年リズムダンス「軽快なロック」 2/6時間】

(1) 本時の目標

- 軽快なロックのリズムの特徴をとらえた動きで、全身で即興的に踊ることができるようにする。(技能)
- リズムダンスに進んで取り組むことができるようにする。(態度)
- ロックのリズムの特徴や動きのポイントを知り、特徴をとらえた動きを見付けることができるようにする。(思考・判断)

(2) 展開 ※ 本時では、運動についての思考・判断を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価(☆)
はじめ 10分	1 心と体をほぐす。 ・円形コミュニケーション ・2人組即興ダンス	○円形コミュニケーションや2人組即興ダンスを行い、心と体をほぐす。 ○自由に踊ったりすることができるように教師の即興的な踊りを見せる。
なか 30分	2 本時のねらいの確認 軽快なロックのリズムにのって、友達とかかわり合いながら、即興で楽しくおどろう。	○ロックの弾みや後打ち(「ウンタ ウンタ」)のリズムの特徴を説明する。 ○子どもが示す即興的なおもしろい動きが全体に広がるような演示や声かけをする。
	 <p>ロックは2回目だから、後打ちのリズムにのりやすくなってきたよ。</p> <p>ねじったり回ったりする動きを入れるともっとおもしろくなったよ。</p> <p>ロックは後打ちのリズムだったね。「ウン・タ」の「タ」にアクセントをつけよう。</p> <p>動きをスローモーションにしたり、急に止まったりする工夫を入れながら踊ってみよう!</p> <p>体の向きを変えたり、すばやい動きを入れたり、スキップで移動したりして、動きに変化をつけよう。</p>	
	・リズムの特徴をとらえながら、変化をつけて続けて踊る。 ・おもしろかった即興的な動きを紹介する。	○リズムの特徴や動きのおもしろさについて確認する機会を1曲ごとにつくる。 ○音楽が繰り返し流れるようにする。
	4 全体で1曲を選び、リズムの特徴に合った動きで、2~4人組で即興的に踊る。 ・小テーマである「軽快なロック」の曲の中から教師が1曲を選び、曲の特徴をとらえながら踊る。 ・毎時間違う友達と踊る。	○軽快なロックのリズムの特徴や動きのポイント確認する。 ☆ロックのリズムの特徴や動きのポイントを知り、特徴をとらえた動きを見付けている。 【運動についての思考・判断①】(観察・学習カード)
まとめ 5分	5 学習のまとめをする。	○活動の中で聞いた仲間の言葉も参考にしながら、感じたことや気付いたことを自由に書けるように学習カードを用意する。 ○活動のよさを取り上げ、次時への意欲を高める。